

四国のインターネット利用度調査



平成15年3月

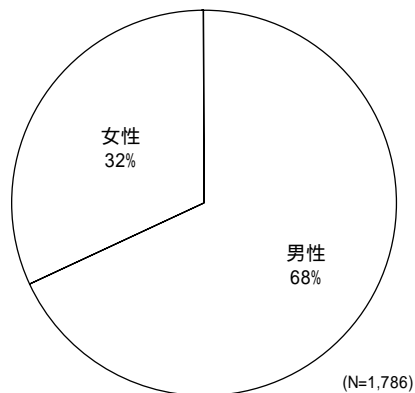
四国電力株式会社

アンケート方法

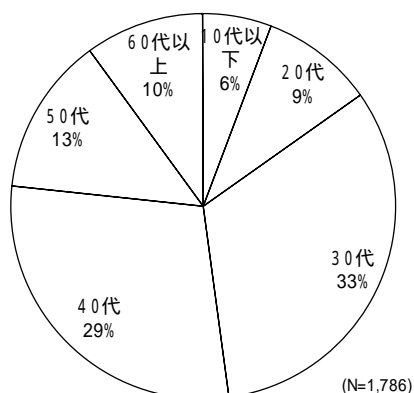
- ・平成15年1月にあかりネットユーザー(62,803名(平成14年12月末時点の全あかりネットユーザー))に対して電子メールによるWEBアンケートを実施
- ・有効回答者数は、1,786名

アンケート回答者の属性

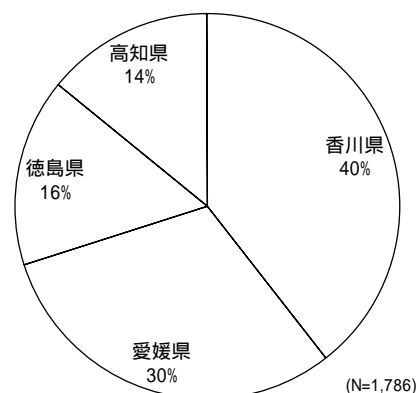
性別



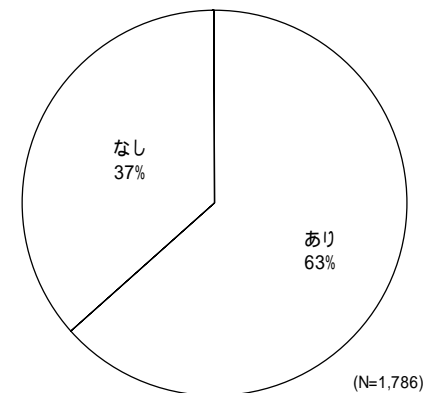
年代別



県別

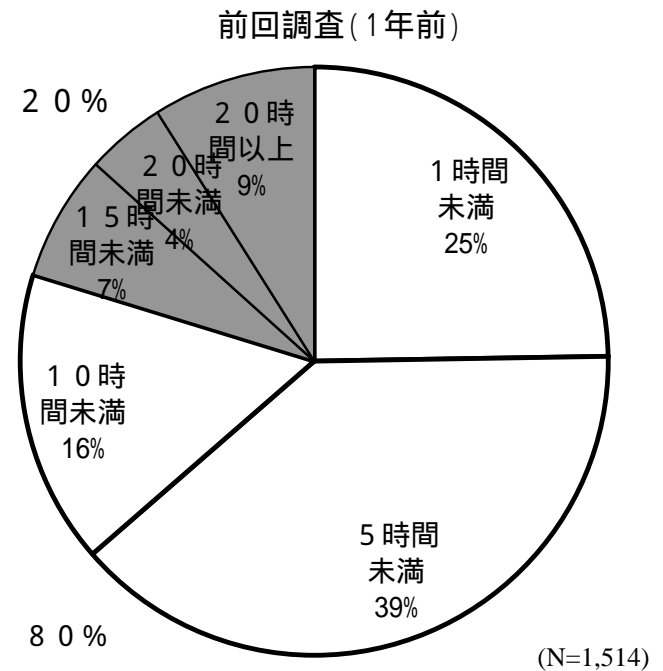
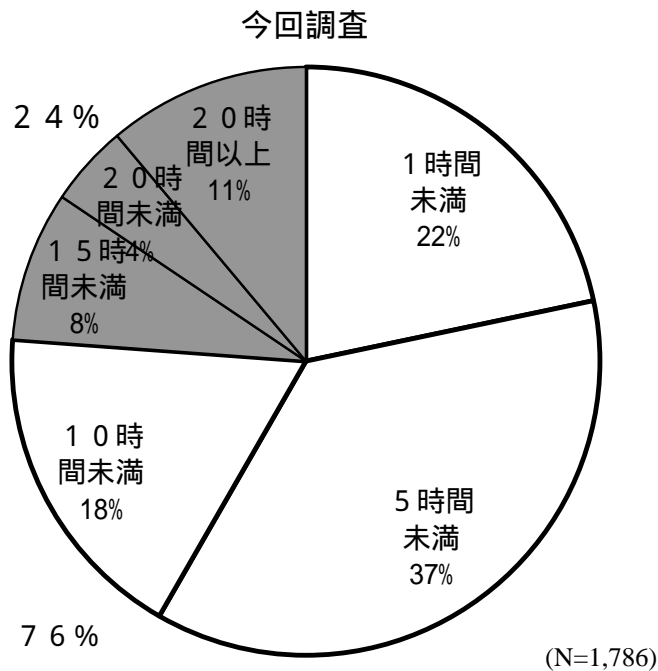


あかりネット以外のプロバイダ契約の有無



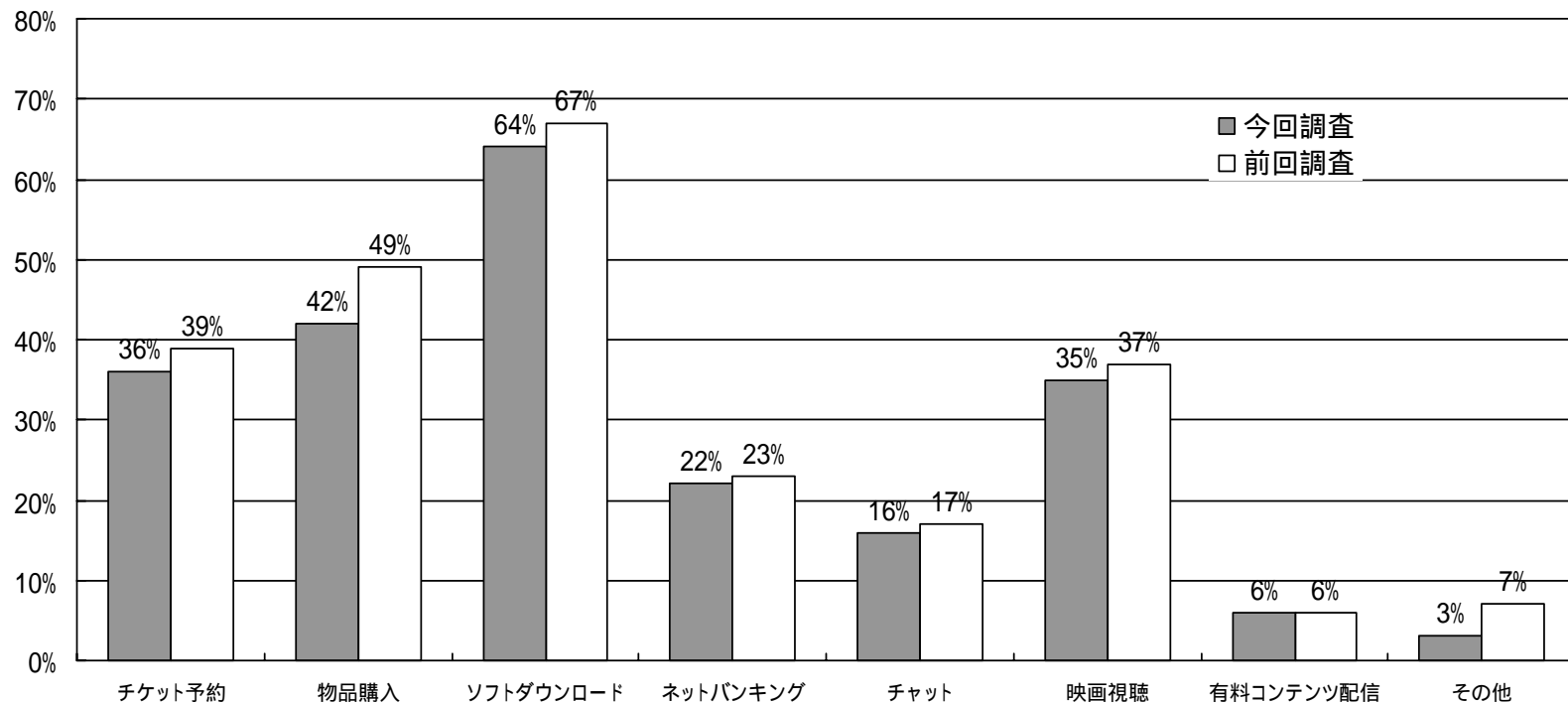
インターネット利用時間

インターネットの1週間あたりの利用時間



1週間あたりの利用時間については、10時間以上の長時間ユーザーが全体の24%と全国平均(27%：インプレス調べ2002年3月)に比べ、やや短めの利用時間となっているが、昨年度よりは長時間利用ユーザーが増加している。これは、ADSLやCATVなどの常時接続型ユーザーの拡大が影響しているものと思われる。

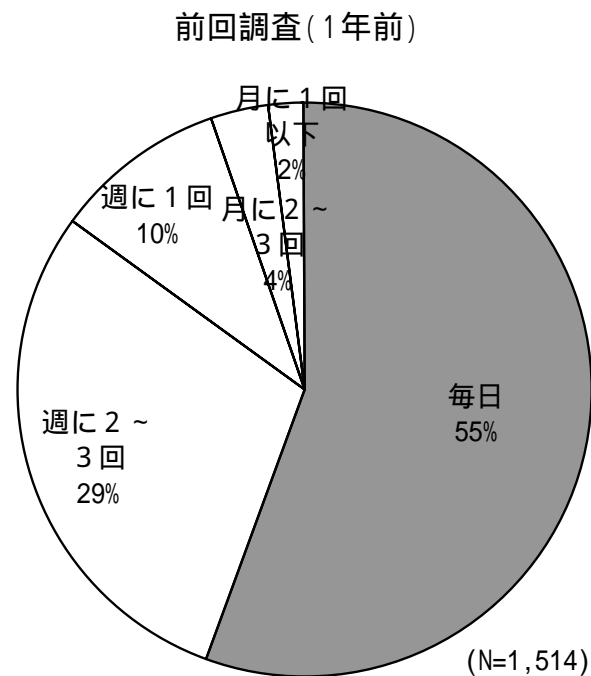
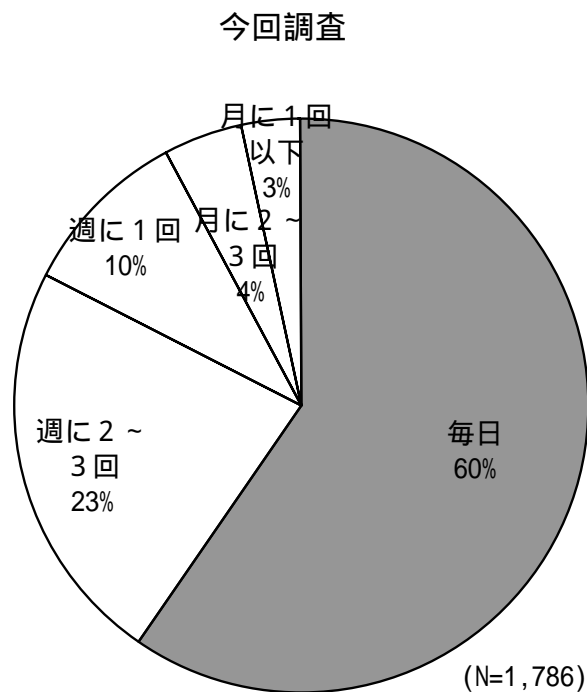
今後インターネットで利用したいサービス



前回調査と比べ、全体の傾向は変わっていないが、各項目とも減少している。
これは、インターネットが浸透し、各サービスの利用が進んできているものと考えられる。

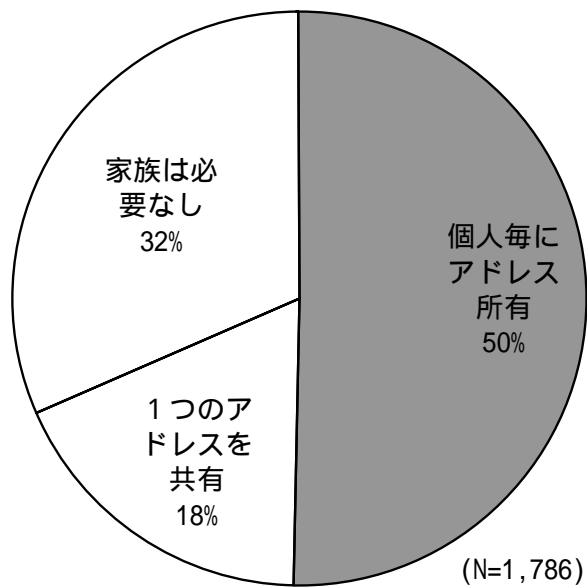
電子メール利用頻度

電子メールの確認頻度



毎日メールを確認するユーザーは若干増加している。
全体の6割でメール利用が習慣化している。

家族でのメールアドレス取得状況

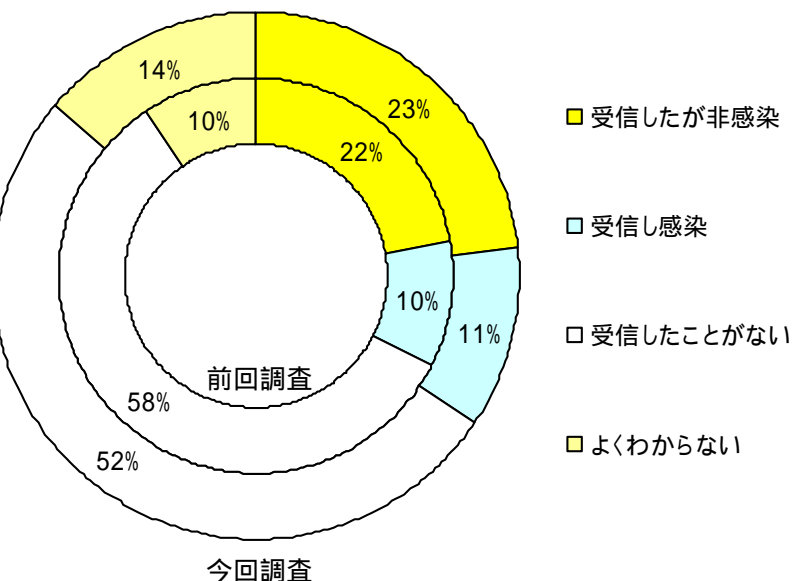


半数の家庭では個人毎に電子メールアドレスを所有している。

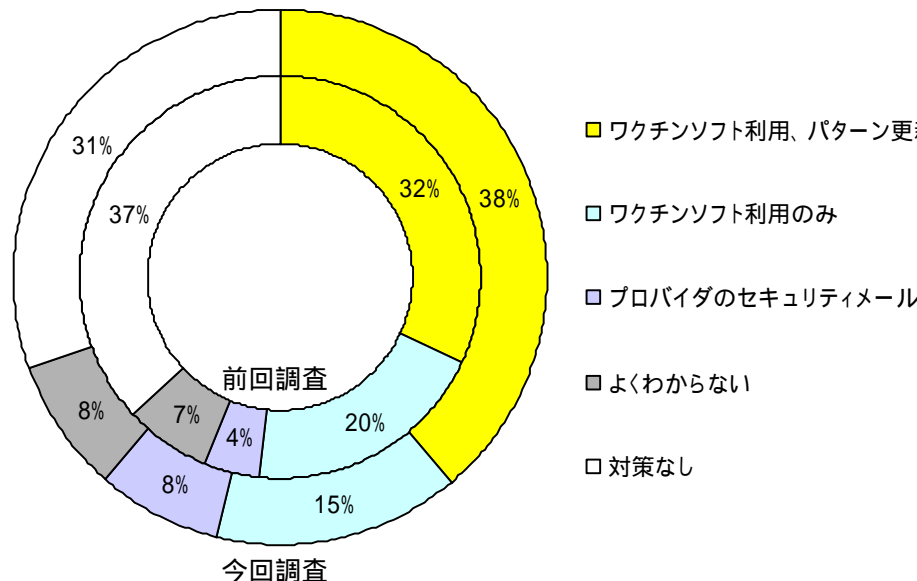
同一世帯内でもインターネット浸透率が高まっている。

コンピュータウイルスについて

ウイルスを受信したことがあるか



ウイルス対策をしているか

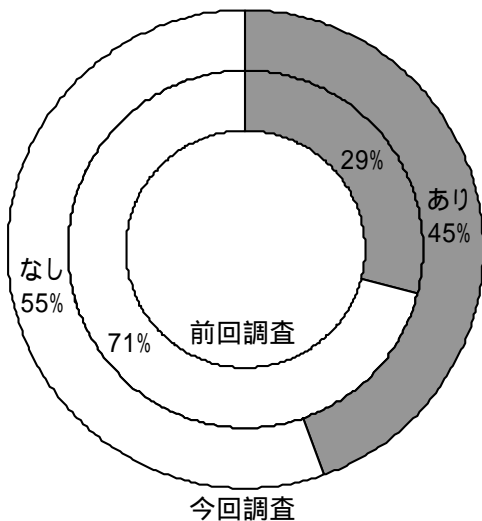


コンピュータウイルスの受信経験者の割合は前回調査時とほぼ変わらない。

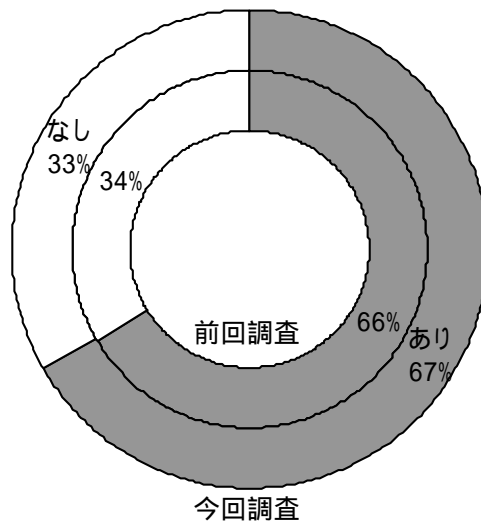
一方、ウイルス対策については、ワクチンソフト利用者のパターンファイル更新割合の増加、セキュリティメール利用者の増加など、前回調査時よりも進んでいる。

迷惑メールの受信について

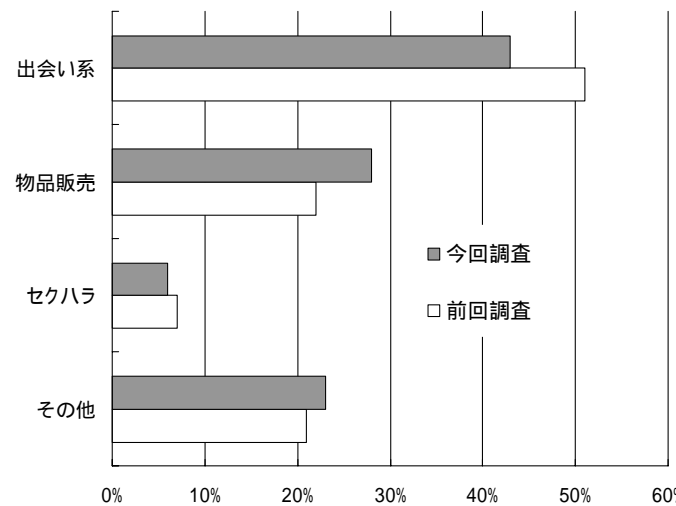
パソコンでの
迷惑メール受信の有無



携帯電話での
迷惑メール受信の有無



受けとった迷惑メールの種類は
(パソコン・携帯電話)



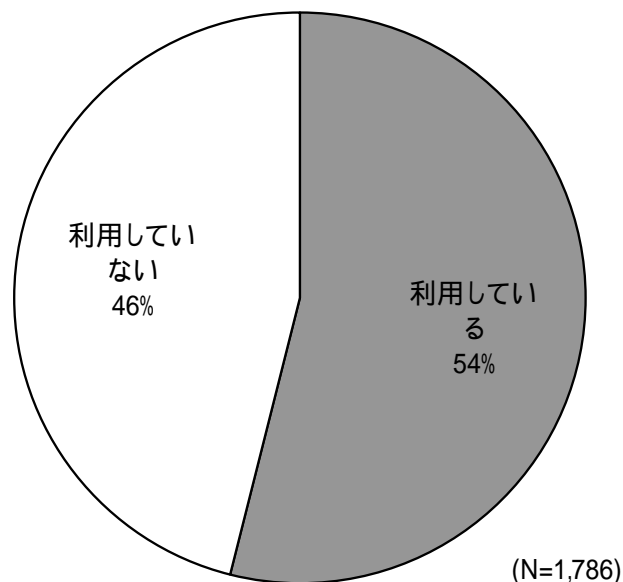
今回調査を見ると、パソコンでの迷惑メール受信は大きく増加し、携帯電話での迷惑メール受信は前回とほとんど変わっていない。

個別に見ると、昨今問題となっている出会い系が減り、物品販売が増加している。

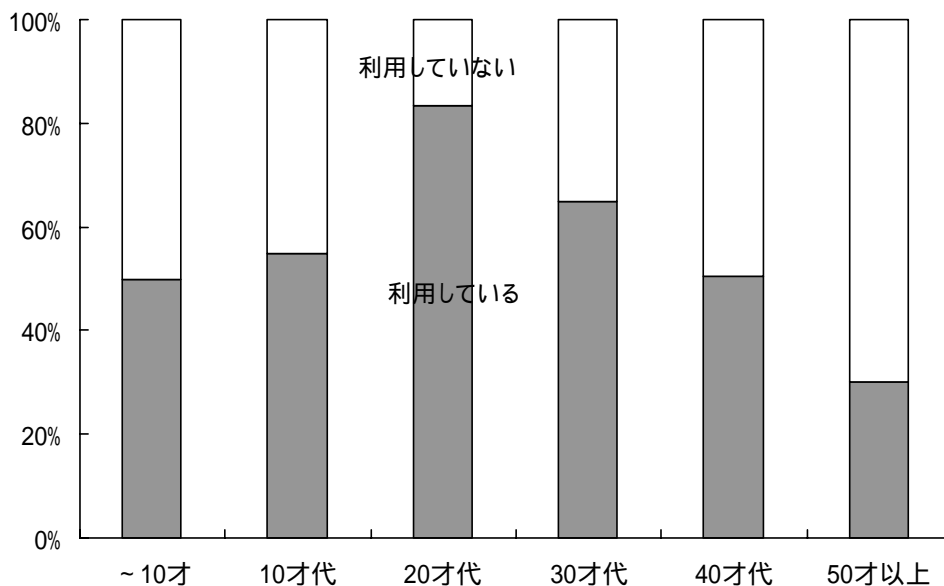
なお、前回調査以降に迷惑メール防止に関する法的規制(「特定電子メールの送信の適正化等に関する法律」14年7月施行)がなされている。

携帯電話でのインターネット・メールの利用状況

インターネット・メールの利用



年代別利用状況



携帯電話を所持しているユーザーのうち半数以上は携帯電話でインターネット・メールを利用しており、全国平均(53%:インプレス調べ)とほぼ同じである。

年代別の利用状況は、20才代では83%、30才代では65%のユーザーが利用しており、この年代を中心に携帯電話でのインターネット・メール利用が浸透してきている。